

ワールドカップの みどころ

村越 真

2000 年 4 月 15 日・16 日 静岡県富士山麓

日本初のワールドカップまであと一月！

4 月 15・16 日、静岡県富士市で日本初のワールドカップオリエンテーリング大会が開催される。あと一月足らずに迫ったこの大会の全貌と見どころについて紹介しよう。



会場となる富士山こどもの国

ワールドカップとは？

オリエンテーリングには世界一を決める大会が二つある。一つはワールドカップ、もう一つは世界選手権である。世界選手権は奇数年の夏に行われ、一レースで世界チャンピオンを決定する。前回は 1999 年にスコットランドで開催された。日本も、2005 年の開催に向けて立候補の意志を表明しているが、その正式決定は今年の 8 月にオーストラリアで開かれる IOF 総会で決定される。

一方ワールドカップ（WC）は偶数年に開催される。4 ないし 5 ヶ国を転戦し、毎回 8 から 10 のレースが行われる。各レースの優勝者に 50 点、2 位に 47 点、以下 35 位までに得点が与えられ、よい方から 5 つのレースの合計がその選手のポイントとなる。そのポイントによって年間成績を競う。一発勝負の世界選手権に対して、シーズンを通した総合力の世界一、それがワールドカップチャンピオンである。

過去 2 回（1996 年と 1998 年）の WC はすべてのレースがヨーロッパで行われており、今回の日本でのレースは 6 年ぶりのヨーロッパ外でのレースとなる。またアジアでは 1988 年に香港で開催されて以来 10 年ぶり、2 回目の開催となる。

今年の WC は以下の日程で開催される。

- 4 月 15 日 日本（クラシック競技）
- 16 日 日本（リレー）
- 22 日 オーストラリア（ショート競技）
- 24 日 オーストラリア（クラシック競技）
- 7 月 1 日 ウクライナ（クラシック予選）
- 3 日 ウクライナ（クラシック決勝）

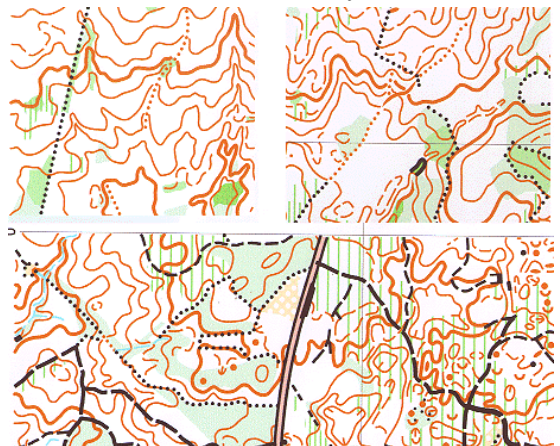
- 4 日 ウクライナ（ショート）
- 7 月 18、19、21 日 フィンランド（3 日間競技）
- 20 日 フィンランド（ウルトラ・ショート）
- 10 月 11 日 ポルトガル（ショート）
- 12 日 ポルトガル（クラシック）
- 14 日 ポルトガル（リレー）

（注：クラシック競技は優勝タイムが 75 分（女子 60 分）程度のレース、ショート競技は優勝タイムが 25 分、リレーは 3 人による国別対抗リレーである）

抜群のトレインと地図

競技は富士山と愛鷹山の麓にある富士山こどもの国を会場に行われる。こどもの国の周囲をまわる男子約 13km、女子 8km のコースでクラシック競技が 15 日（土曜日）に、また男子 7km（×3 人）、女子 4km（×3 人）のリレー競技が 16 日（日）に行われる。

トレインはこれまでも名トレイン、名マップを提供してきた富士山麓であるが、今回はその新たな魅力を披露してくれる。ここでその詳細を書くことはできないが、このトレインは日本のトレインに対する私たちの固定観念を打ち破ってくれるものであることは間違いない。もちろん地図も世界最高水準の精度のものが提供される。スウェーデンのトッププロ Mapper であるベル・オーラ・オルソンのアシストの元に、日本のトップ Mapper の羽鳥和重・中村弘太郎・田中徹などが 2 年の歳月とのべ 150 日以上の日数をかけて完成させた。特に今年に入ってから、彼らはほとんどの週末を富士山麓で調査に費やしている。コントローラであるロブ・ブローライト（オーストラリア在住のプロ Mapper）もその出来には「エクセレント、これまでのどの WC と比較してもひけをとらない」と折り紙をつけた。



コースランナーは、いずれも静岡大学 OLC 出身の和久田好秀（クラシック）と平井均（リレー）である。クラシックは IOF のコントローラであるデービッド・ホッグから「常に地図読みと集中力を要求するよいコース」と評価されている。またリレーについては（難しいエリアを使いながら）コントロール位置は非常にフェアであるという評価を得ている。

世界のトップ選手たち

今回のクラシックコースの特色は、最後の 3 レッグを会場から観戦できる点である。世界の走り・ナビゲーションを直接観察することができるだろう。会場設定もまた、これまでのオリエンテーリングに対する固定観念を打ち破ってくれるものとなるだろう。「マラ톤の平原から勇者が勝利を告げるために戻ってくる」、ゴールエリアで観戦しているあなたは、そんな錯覚に陥るかもしれない。

さて、出場の勇者たちである。まだ氏名によるエントリーが締め切られていないので確定ではないが、予想される上位選手を紹介しよう。

1980 年以来 20 年間、世界のトップランナーとして活躍してきたスウェーデンのヨルゲン・モルテンソンの後継者と目されるヨハン・イバーソン、ヨルゲンより 1 歳年少であるホーカン・エリクソンはともに、世界選手権でも数々のメダルを獲得している。1998 年のワールドカップでは最終戦で劇的な逆転勝ちを収めたデンマークのクリス・テケルセン、前回のワールドカップでは惜しくも総合優勝を逃したが 1999 年の世界選手権では見事にチャンピオンに輝いたノルウェーのビョルナー・バルシュタットなどが男子の有力選手である



1999 年世界選手権クラシック表彰式
中央：1 位 ビョルナー・バルシュタット（ノルウェー）
右：2 位 アラン・ベルジェ（スイス）

昨年は若手が台頭した年でもある。ノルウェーのヨルゲン・ロストラップは、21 歳の史上最年少で世界チャンピオンとなった（ショート種目）。



1999 年世界選手権ショート表彰式
世界最年少で世界チャンピオンに輝いた
ヨルゲン・ロストラップ（ノルウェー）（右）
左：ユハ・ペルトラ（フィンランド）

また 2 位はフィンランドの新鋭ユハ・ペルトラ（24 歳）であった。ともに、来季も活躍が期待される。

特にユハは、昨年の秋のパーク O 世界ツアーで来日した時にも富士の森でトレーニングを行っており、日本の森を経験している点は、大きなアドバンテージだ。日本の森を柔らかくしてタフ、ルートチョイスに注意が必要と、冷静に分析している。24 歳の今、ロスタイムが 0 秒のレースが二つあるという彼がどんなレースを見せてくれるか楽しみである。トレーニングのあと、この地域の地図を買い求め、熱心に研究している姿に、WC の日本シリーズにける意欲を感じる。

北欧以外にも有力選手は多い。アラン・ベルジェ（右図参照）は 1999 年世界選手権で、スイスに 25 年ぶりの個人戦銀メダルをもたらしている。これまで世界選手権でも個人戦の上位がなかっただけに、このメダルをきっかけにした飛躍が期待できるかもしれない。

またウクライナのユリ・オメルチェンコ（1995 年ショートチャンピオン）もスピードを武器に上位を狙っている。世界選手権優勝時の国旗掲揚で、よもや優勝のウクライナには国歌の用意がなかった。チーム団長が朗々とした声で国歌を独唱した時の感動は、今も多くのオリエンティアに記憶されている。

女子もやはり北欧が上位に君臨している。ビョルナーのパートナーであるハンネ・スタッフは 1998 年のワールドカップ年間チャンピオンであり、今回も当然優勝を狙ってくるだろう。スウェーデンのグニラ・スヴォード、カタリナ・アルベリ、また 1999 年世界選手権では姉妹で 1、3 位を獲得したフィンランドのキルス・ポストラムとヨアンナ・アシュクロフが上位候補である。北欧以外では、スイスのブローニ・ケーニツヒやザブリナ・マイスターやドイツのフラウケ・シュミットも上位をねらえる選手である。これらのトップ選手が、世界でも最高難度の富士の森で、どんなナビゲーションを見せてくれるかは興味あるところだ。



左：ハンネ・スタッフ（ノルウェー）
中央：キルス・ポストラム（フィンランド）
右：ヨアンナ・アシュクロフ（フィンランド）



ザブリナ・マイスター（スイス）

今期の世界選手権は振るわなかったが、その直後のパークワールドツアーのオスロ大会（1999 年 8 月）で優勝したデンマークのドルテ・ダールにも注目したい。彼女は昨年のパークツアーの自己紹介にこう書いている。「私の昨年の最高成績は、長女を出産したこと」来季はさらに調子を整えて WC に臨んでくることだろう。

活躍が期待される日本選手

男子は、6 名中 3 名の出場がすでに決定している。

鹿島田浩二（東京大学出身、東京 OLC）は中学校時代から怪物と称され、中 2 の夏の 5 日間大会ではすでに中学生・高校生を含むクラスで 5 日間完全優勝の実力をを見せてつけていた。前回日本で開催されたアジア環太平洋選手権（1992 年静岡）でも海外の選手と対等にわたりあった。村越の跡を継ぐエースと目される彼が、村越が運営にまわる今大会で、どこまで開催国の意地を見せてくれるかは注目される。



松沢俊行（東北大学出身、京葉 OLC）は 5000m を 15 分前半で走る俊足ランナーで、フルマラソンも 2 時間 32 分のタイムを持つ。走力を生かしつつ、ここ数年は技術的にも安定した力をつけ、トップの座につきつつある。夏の世界選手権（クラシック）では日本選手最高順位を残している。地元出身者（榛原高校）だけに、静岡のワールドカップには、期するものがあるだろう。



藤城公久（筑波大学大学院）は、1999 年の世界選手権ショート種目では、初出場ながらあと 6 秒で予選通過という成績を残した。今シーズンも、西日本大会で優勝するなど好調である。現在もっとも伸びを感じさせる選手だけに、来季の更なる飛躍が予想される。



残りの 3 名については 1999 年度のランキングおよび 4 月 2 日の選考レースで選考される。1995 年から 1999 年まで 3 回連続世界選手権代表であった加賀屋博文（筑波大学出身、渋谷で走る会）高校時代はクロカン選手で、現在もスピードには自信を持つ山本英勝（東京大学出身、渋谷で走る会）、1999 年世界選手権ではチーム最年少であった山口大助（千葉大学大学院）などが日本代表の座を獲得することが予想される。

女子選手は、1999 年度のランキングおよび 4 月 2 日の選考レースで選考される。

落合志保子（静岡大学出身、OLC ルーパー）は、同じオリエンテーリングを愛好するパートナーに恵まれ、結婚後一段と強くなった。特に 1999 年の世界選手権ではショート、リレーともに好成績を残しており、日本の新たなエースとしての貫禄も身につつつある。地元静岡大学出身で、大学からオリエンテーリングを始めただけに、静岡でのレースには人一倍思い入れがある。今期も好調で、東日本大会優勝、西日本大会 2 位となっている。



田島利佳（武蔵野女子短期大学出身、みちの会）は、小学校の時に家族とオリエンテーリングを始め、15 年以上のキャリアを持つ。1990 年にはジュニア世界選手権、1995 年 1999 年には世界選手権に日本代表として参加した。安定した技術に加え、今シーズンは例年以上の充実したトレーニングを積んでいる。



左：田島利佳 右：三好暢子

三好暢子（武蔵大学出身、上尾 OLP）もパートナーである富田吉郎氏のバックアップ、豊富な練習量で日本を代表する選手の一人となった。1999 年の世界選手権にも代表選手として参加後、技術的にも精神的にもレベルアップしており、いいレースが期待できる。

金並由香（早稲田大学出身）は、豊富な練習量と身体的な素質で今や日本を代表する選手の一人である。タフなコースになった場合には、外国選手と対等にわたりあえる可能性もある。



高野由紀（学習院短期大学出身、東京 OLC）は、1980 年代の日本のエースだったが、1987 年に世界選手権に出場したのを最後に国際大会からは遠ざかっていった。しかし 39 歳二児の母となった今も、トップレベルでの競技を続けている。気合を入れて準備したレースでの実力は昨年 10 月のパーク O 世界ツアーでも実証済みである。

木植早生（つくば ROC）は 1 年半前の交通事故の後遺症で一線を遠ざかっていたが、今秋になって復活。11 月の西日本ではいきなり優勝し、実力を見せつけた。

あなたも参加できる各種イベント

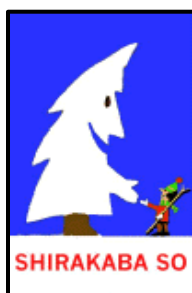
土曜日、日曜日ともに、WC のレースが終わった後、併設大会が開催される。世界最高水準のトレインと地図をあなたも実際に体験することができる。特に二日目には、エリートと 21A では、ワールドカップのコースを体験できることになっている。しかも計時は電子パンチ。世界

のトップ選手とラップを比較できるまたとないチャンスである。

二日目には、公園内のショートコース（ウィニング 10 分程度）で、世界チャンピオンに挑戦のミニレースも予定されている。世界チャンピオンにどこまで迫れるだろうか？

その他にも、関東学連を中心とした学生クラブの合同新入生歓迎行事の併設、トレイル O など様々な行事が企画されている。会場となる子どもの国は昨年春に開園したばかりである。何も無いが、自然とひろびろとした園内が魅力の公園である。世界のトップ選手の走りを観戦しながら、春の一日をピクニック気分で過ごすには最適の場所である。

2000 年という新しい世紀の前夜にふさわしい大会がもうすぐ開催される。またこのワールドカップは、今後開催される秋田のワールドゲームズ、あるいは日本が立候補した 2005 年の世界選手権への 1 ステップである。このような歴史的なステップに、あなたも参加してはどうだろう。会場申し込みは全日本大会でも行われている。



菅平高原へ ようこそ！

大自然の故郷に休息し、人間本来の豊かさを取り戻す邂逅……。ホテル白樺荘は、美しい自然を思いのままに楽しみゆきとどいた爽やかなおもてなしで深く心に刻まれる旅のひと時を演出いたします。

You can relax with nature during your visit. At Hotel Shirakabaso you can enjoy beautiful scenery all year round, whilst enjoying the good service.



電話 0268-74-2511

E-mail sirakaba@po.sphere.ne.jp

<http://www.shirakaba.com/>

外国選手に聞くワールドカップへの展望

(取材: 松沢俊行)

- Q1 富士山麓のトレインについてどのように感じましたか。
- Q2 WC日本シリーズにおける目標は。
- Q3 WC日本シリーズにどのような戦略・作戦で望みますか。
- Q4 日本のオリエンティアをどう思いますか。

<回答集(アルファベット順に紹介 M と W は性別)>

Gunilla Svard (スウェーデン W)

- A1 地面が柔らかい。「緑」は通れないが、「白」は走りやすい。技術的にもあまり易しくない。トレインのタフさにフィットするよう準備が必要。
- A2 3位以内。
- A3 向上心が旺盛。友好的で協力的。

Hakan Eriksson (スウェーデン M)

- A1 グッドでチャレンジング。柔らかい地面は驚きだった。相当タフである。緑のエリアでは行き詰まりやすい。
- A2 スウェーデンチームの一員となり、素晴らしいレースをすること。
- A3 いつものように常に地図を読み、速く走る。特に下りでは(速く走ることを容易にするために)普段より余計にコンパスを見ることだろう。
- A4 ベリーナイス! アンド グッドランナーズ!

Juha Peltra (フィンランド M)

- A1 地面が柔らかいので登りはタフ、下りは快適。地形的特徴はかなりはっきりしているが、所によってはトリッキーで難しい。通行可能度に、地図と大きな違いがあった。(古い地図だからだろうか)
- A2 WC1 戦目を走って、勝つこと。
- A3 まだルートチョイスについて考える必要があるが、多くの場合道を使った方が良いと思う。地面が柔らかく、斜面は急で、下草があるから。他はいつも通り、最初から 100% スピードを出して、100% 地図とコンタクト!
- A4 大変協力的。PWT のラップを見たところではナビゲーションを磨くことによって多くの選手がより高いレベルに達すると思う。

Maria Sandstrom (ノルウェー W)

- A1 通行可能度が良い。地面が柔らかいのでタフ。技術的にもそれほど易しくない。下りを上手にこなせばタイムの短縮になる。
- A2 メダル獲得。
- A3 ミスをしないで出来る限り速く走る。レース前に適切なトレインで少しトレーニングしたい。
- A4 友好的で協力的。日本で良い走りをして欲しいと思います。

Michael Mamlejev (ロシア M)

- A1 地面が柔らかく、良い体のコンディションが要求される。富士のトレインで練習を積みばオリエンテーリング技術を高められると思う。
- A2 財政的な理由で来られないかもしれない。参加できるように 15 位以内を目指したい。
- A3 まずはこの冬、前の冬よりトレーニング量を 30% 増やしたい。
- A4 非常にオープンで友好的。

Odin Tellesbo (ノルウェー M)

- A1 面白くて骨が折れる。地図とコンパスなしではすぐ迷う。言葉がよく分からなければなおさら。(注: 彼は PWT 後に富士トレインでトレーニングをせず、富士登山した一行の内の一人。一行は下山道を間違えて、予定時間に大きく遅れて本隊に合流した。)
- A2 ノルウェーチームに選ばれること。そしてベスト 10 に入ること。
- A3 ミスをしないで速く走る。できるだけやぶを避けて道を使う。オリエンテーリングの難しさに注意を払う。最終的な戦略は、トレーニングキャンプで固める。
- A4 礼儀正しく、ユーモアがあり、接しやすい。

Sabrina Meister (スイス W)

- A1 ナイストレイン。緑の部分は非常にタフ。スイスの、ある種のトレインとそう違わない。ルートチョイスの面白さがある。
- A2 日本とオーストラリアの WC に向けて選考レースがある。通過したい・・・。
- A3 やぶは避ける!
- A4 友好的で協力的。ヨーロッパの選手に接したり地図を見せたりして楽しそうにしている。

Tom Quayle (オーストラリア M)

- A1 険しくて、地面が柔らかく、やぶがち。オリエンテーリング自体そう難しくはないが、ロングレグのルートチョイスは難しい。
- A2 来たい。技術的にはオーストラリアのトレインを走るのと似ているので、オーストラリアチームとして良い走りができればいいと思っている。PWT の運営を目の当たりにしたことで、WC に来たいという思いが強くなった。
- A3 ルートチョイスの練習をする。険しい斜面に備えたトレーニングをする。
- A4 篠原岳夫と走ったが、彼はいい。速いし大きなミスをしなかった。ルートチョイスに関していいディスカッションができた。何か得るものがあったようなら嬉しい。